

## 小田急電鉄 5000 形通勤車両



写真 1 外観

### 要旨

小田急電鉄株式会社(小田急電鉄)は、日本最大級のターミナル駅の新宿を起点に、箱根の玄関口である小田原までを結ぶ小田原線、湘南エリアに至る江ノ島線、多摩ニュータウンに至る多摩線の3線、計120.5km、全70駅で営業を行っており、1日210万人のお客さまにご利用いただいている。小田急電鉄では、2018年3月に完成した代々木上原～登戸間の複々線を活用して、朝の通勤時間帯を中心に抜本的な輸送サービスの改善を図った。複々線完成後、初めて導入する新形通勤車両5000形は、更なる快適な輸送サービスの実現を目指すこととした。

新形式通勤車両の導入は、4000形以来12年ぶりであり、“より広く、より快適に”をキーワードに設計を行った。車体構造は、混雑緩和を実感できるように、拡幅車体を採用して車内スペースを拡張するとともに、室内では車両間の仕切扉及び荷物棚に大形ガラスを用いて明るさと開放感あふれる空間とした。本稿では、2020年3月に営業運転を開始した通勤車両5000形10両編成について紹介する。